

六十谷水管橋崩落・断水は

吊材破断を見逃し、
適切な管理をしていなかった
市に責任があることは明白

市は誠意を
持って補償を!!

(12月16日、緊急申し入れ書提出)



市議会の対応

9月定例会市議会中に突然起こった水管橋崩落事故と断水。市議会を含め全市を挙げて事故対応に当たる必要があり、市議会緊急時業務継続計画（BCP）を発動し、急遽、10月4日に9月議会を閉会しました。

事態がほぼ落ち着いてきた10月11日までの間、各会派代表による市議会対策会議が11回開かれ（日本共産党市会議員団は中村あさと幹事長が出席）、各会派の要望を取りまとめ、市当局へ6回で46項目（内、日本共産党市会

議員団は5回で26項目）の要望を行いました。

給水再開後も市議会として、1回の全員協議会、2回の協議会を開催。本管復旧スケジュールや水道料金の減免、給水機器等の補償、市民への情報発信、企業・店舗等の営業に係る援助が話し合われ、機器補償や助成金交付の窓口が設置されました。

給水再開後の 日本共産党市会議員団の申し入れ

10月25日に日本共産党議員団として、次の4点（①水道料金2か月免除、②大きく影響

を受けた事業者への補償、③生活保護世帯や非課税世帯への緊急対応、④水道賠償責任保険の請求範囲）を、市長宛てに緊急に申し入れられました。

六十谷水管橋破損に伴う助成金の申請に対し、中小零細商工業者の団体である民主商工会から様々な意見や要望が寄せられ、日本共産党議員団として、12月16日に「助成金申請期間の延長と申請書類等の簡素化」「申請での市のサポート・相談体制の確立」「助成金（補償金）申請の周知徹底の説明会開催」について、市長宛てと公営企業管理者宛てに緊急の申し入れを行いました。

12月定例会市議会が11月26日（金）～12月16日（木）まで開かれました。控訴の提起について市長専決処分の承認、一般会計補正予算など議案34件と、人事委員会委員選任の同意、2020年度決算認定、請願1件などが提案され、日本共産党市会議員団は議案34件中30件に賛成しました。

職員の期末手当引き下げを含む 4議案と2020年度決算認定に反対

和歌山市職員期末手当の引き下げについて、地方公務員の給与が介護や医療や保育など引き上げが必要な業種や年金などにも波及し、経済にとってマイナス要因になることから、反対しました。（議員、特別職の引き下げには賛成しました。）

新型コロナウイルス感染症対策 「子育て世帯臨時特別給付金」 現金10万円一括支給決定

一般会計補正予算（総額65億9,975万6,000円）として、「子育て世帯臨時特別給付金給付金（53億2,996万円）」「新型コロナウイルスワクチン3回目接種費用等（3億5,474万7,000円）」「新型コロナウイルス感染症入院医療費の公費負担（1億5,608万9,000円）」「新型コロナウイルス感染症のPCR検査の公費負担（1億2,976万4,000円）」「南コミュニティセンターへの図書室等の設置費（8,104万8,000円）」などの増額補正です。

水管橋破損に伴う対応経費 (22億8,398万4,000円)の概要

「仮設送水管の布設費」「断水時の給水活動関連費」「水道料金減免額等補償関連費」「仮設トイレ等関連費」「広報等関連費」「調査委員会費用」及び本管復旧費の増額補正です。

水管橋崩落 コロナ禍 など課題山積の中、 IRカジノに取り組んでいる暇はない!

今回の申請は取りやめるよう
市長から知事に進言するべき

11月19日に開催された県議会IR特別委員会で、カジノ業者も決まらず、4700億円の資金調達も決まっていない、あまりにも不透明な事業ということが、はっきりし、公聴会もパブコメも延期が決定しました。

「IR問う住民投票を」市民の会が
2万筆超の署名で直接請求

「カジノ誘致の是非を問う和歌山市民の会」の署名数は、住民投票条例の制定が直接請求できる有権者の50分の1の署名必要数6,200筆を大きく超え2万833筆となり、12月9日に和歌山市選挙管理委員会に提出されました。



和歌山城ホール屋上にて（撮影時のみマスクを外しています。）

今年もよろしくお願いたします。

さかぐち多美子 議員

- 厚生委員会副委員長
- 広報委員



すべての生活保護世帯を対象にエアコン設置の支給を

問：生活保護世帯であっても、新規か転居でないとエアコン設置が認められないため、支給対象外の80代女性は貸付制度を案内されました。手続きが煩雑で設置に2か月かかったうえ、保護費からの返済が今後必要になります。市独自に対象者を広げるべきではないでしょうか。

市長：市独自は難しいが、国へ要望します。

生徒も参加してブラック校則の見直しを

問：修学旅行前に体育館に集められ、カバンの中、下着、ボディタッチ、靴の中まで確認され、囚人扱いと感じたと中学生から話がありました。合理性・必要性に乏しい校則がいくつもあり、人権侵害の校則は直ちに見直すこと、見直しの際には生徒に考える機会をつくり、改定手続きの明文化が必要だと思うがどうでしょうか。

教育長：教育的意義を十分認識してうえで校則の見直しに取り組みます。

中村あさと 議員

- 建設企業委員
- 議会運営委員
- 地震等災害対策特別委員
- 広報委員



地球温暖化対策待ったなし。 新築・改築時の省エネ対策に補助創設を

問：温暖化対策は、パリ協定の趣旨などをしっかり踏まえるとともに市民の声に向き合うべき。多くの時間を過ごす住宅や商店・事業所などの新築・改築時の省エネ対策への補助創設など市民の声に向き合い、カーボンニュートラルの実現に向け取り組んでいただきたい。

市長：国の温室効果ガスの削減目標の早期達成に向け、経済と環境の好循環の実現に取り組めます。

公募も行われていない状況で、 市民の住宅ニーズに応えることができるのか

問：22年間募集していない松ヶ丘団地の建て替えや民間住宅活用など、どの地域においても公営住宅が整備されているようにするべき。

局長：団地の安全性や市営住宅に対する需要動向を考慮し検討いたします。

森下さち子 議員

- 経済文教委員
- I R誘致に関する特別委員



カジノより生活ライフラインの整備を

問：水管橋崩落、コロナ禍など、今、どうなるか分からないI Rカジノに取り組んでいる暇はない。地道に市民の生活を守り、支える本来の地方自治体としての責務を果たすべき。

市長：住民説明会の延期など遅れていますが、この大きなチャンスを逃すことなくI Rの誘致に向け、県と連携して進めてまいります。

水道ビジョン、経営戦略ともに市民参加による見直しを

問：六十谷水管橋の事故を受け、これまでの水道行政のあり方が問われています。水道局の職員がこの10年間で半減され、この体制で自ら掲げたビジョンが達成できますか。

公営企業管理者：具体的施策の点検や見直しを検討し、それに併せて、経営戦略の見直しも図ります。目標達成のために必要な職員体制を検討しなければなりません。

南畑さち代 議員

- 建設企業委員



六十谷水管橋崩落、市民への支援を

問：給水場所の増設や高齢者等への水の運搬支援や運搬により圧迫骨折した方など体調を崩された方への経済的支援が必要です。

局長：個別的な運搬支援には困難。体調不良の対応は直接的な原因のみ対応しています。

問：市長として課題をどう受け止め、どう取り組もうとしていますか。

市長：計画されている北部地域への（水管橋の）複線化について、新浄水場の建設も含め再検討を行うとともに、早期に整備着手するよう考えています。

日本遺産「葛城修験」の取り組みは、幅広く呼びかけて

問：葛城修験が認定されているが、その活用を修験者や関係地域の方等に広くよびかけてはどうか。

局長：関わりの深い地区などの方々を対象として取組を検討したい。

井本ゆういち 議員

- 総務委員会副委員長
- 地震等災害対策特別委員



ジェンダー平等目標達成に向け 市役所内の職場環境の整備を

問：和歌山市は、女性管理職の割合が全国的な状況と比べて遅れている。今後、どう対応していくのか。

局長：女性管理職は、現在9.6%であり、15%以上を目標に、働きやすい環境を整備し、管理職として必要な能力と適性を備えた女性職員の育成に取り組めます。

市民の多様なニーズに応えるため、市職員の研修は重要

問：市職員の研修内容、結果、講師選定など、これからの仕事に活かせることが重要。講師の謝礼金について、他の自治体のように基準を設けるべきではないか。

局長：職員研修の充実に努めます。講師謝金は画一的に金額を定めることがないため、研修の内容等に応じ決定しています。

ひめだ高宏 議員

- 総務委員
- 議会運営委員
- I R誘致に関する特別委員



障害者の65歳問題の改善を

問：障害者が65歳になると介護保険を優先すべきとして、それまで使っていたサービスが、そのまま使えなくなったり、新たに1割負担が生じます。改善するべきだと思いますが？

局長：一律に介護保険サービスへ移行するのではなく、障害福祉サービスを必要とする理由等を聞き、適切な判断に努めなければと考えています。

遊休市有地の有効活用を

問：行政目的のない遊休市有地の有効活用について、市民の利用や売り払いなどを専門に考える部署が必要だと思いますが、どうでしょうか。

局長：各課所有の遊休市有地については、和歌山市公有財産利活用等検討委員会で組織横断的に様々な検討を進めています。今後も有効活用・売却にしっかり取り組んでいきます。

